

日本の作曲家シリーズⅫ 北爪やよひ個展

はなむねもはなむねもかたごい...

■企画・構成・作曲

北爪やよひ

■曲目

エネクⅢ―ピアノのための

エネクⅡ―ピアノとフルート・オーボエ・

バスーンのための

インナー・スペース―2台のピアノのための

エチュード―箏うたのための

エネクⅣ(仮題)―3本のトランペットと

3本のトロンボーンのための

(委嘱初演)

■出演

高橋アキ・伊藤恵(ピアノ)

小泉浩(フルート) 小島葉子(オーボエ) 前田信吉(バスーン)

谷珠美・草間路代(箏・唄) 松原弓子(十七絃・唄)

杉木峯夫(トランペット) 栗田雅勝(トロンボーン)他

■主催 横浜市教育委員会

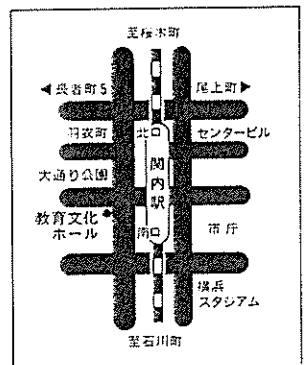


'89 **3月31日**(金)

午後7時開演
横浜市教育文化ホール

■申込方法

往復はがきに住所・氏名・年齢・電話番号・コンサート名を記入して〒231 横浜市中区万代町1-1 横浜市教育文化センター文化事業課へ。応募多数の場合は抽選で500人無料招待。締切'89年3月16日(休)必着。中学生以上の方に限ります。1枚のはがきで1人ずつ申込んで下さい。開場は午後6時30分。◎問合せ 文化事業課 ☎045-671-3714~5



日本の作曲家シリーズは現代日本の優れた作曲家とその作品を紹介するため、毎年3月、作曲家に新作とプロデュースを依頼して行っているコンサートです。今年はこのシリーズ初めての女性、北爪やよひさんです。

世の中には音が溢れています。様々な音が、あっちからもこっちからもやって来ます。でも、よく考えてみると、こちらから耳を澄まして寄って行かなければ、知らん顔して通り過ぎて行ってしまう音たちもあります。

音楽の場合も同じです。音の中へ入り込んでいって、音の回りを聴き、音と音との間を聴く。音と音が重なったり、ずれたりする。影が出来る。音が、時間が、空間が、のびたり縮んだりする。その中に身を置くうちに、そこに自然なうた、があることに気がつくかもしれません……。それは奏者、作曲者そしてなにより聴く人それぞれにとっての、自然なうた。そして、新たなる発見……。

北爪やよひ：東京芸術大学大学院修了。池内友次郎、故矢代秋雄各氏に師事。音楽之友社吹奏楽曲懸賞募集優秀賞。五作展・現音・作曲家協議会・深新会などで作品を発表。海外でも演奏される。現在、東京音楽大学附属高等学校非常勤講師。子育てのため数年の中断の後、作曲をゆるやかに再開。